総務建設常任委員会



水洗式で照明設備やバリアフリー機能も備わっている
防災トイレトラック

災害用トイレトラックが熊本県宇城市へ初出動

8月20日（木）令和8年熊本地震による被災地支援として、町が所有する災害用トイレトラックを熊本県宇城市へ派遣。避難生活における衛生環境の確保と、被災された方々の尊厳を守るための支援を行った。

全国の自治体が相互に支え合う「災害派遣トイレネットワーク」の一員として、宇美町も被災地支援に取り組んでいる。

委員会コメント

今回の派遣で得られた経験や課題を今後の防災対策に活かし、町民が安心して避難生活を送ることができる環境整備と、災害に強いまちづくりをさらに進める。

地域防災力の強化に向け地域コミュニティ課と意見交換

当委員会は、今年度の活動方針を「地域防災力の強化」とし、自主防災組織の構築や有事の際の備えについて調査・研究を行っている。

9月28日（月）9月定例会終了後、宇美町防災備蓄倉庫を視察し、地域コミュニティ課と意見交換を行った。

町内の自主防災組織の現状をはじめ、自治会で備えておくべき防災備品の内容、町と民間事業者との災害支援協定の内容などについて協議した。

今後の地域防災力の強化に向けた取組の再確認を行うことができた。



個数などが適切に管理された防災備蓄倉庫
ただし備蓄には限りがあるため、各家庭での備えも必要





企業版ふるさと納税で物納された
移動式ガス回転釜（100食分調理可能）5台と調理台1台

委員会コメント

自主防災組織の立ち上げや設立後の活動を支援するとともに、防災士と自治会との連携を進め、地域防災力の向上に継続して取り組んでいく。

厚生文教常任委員会

中学校部活動の地域展開の取組を視察
日程　令和8年10月16日　視察先　長崎県長与町（ながよちょう）

長崎県長与町は、令和5年4月から休日の全ての運動部活動を民間のスポーツクラブが運営を担い「地域スポーツ活動」として取り組まれている。長与町における取組の現状や今後の方向性について、長与町教育委員会の金﨑教育長より説明を受け、のちに長与町議会と意見交換を行った。

― 長与町立中学校 ―

・中学校数　3校
・生徒数　1,114人

― 現在の長与町地域スポーツ活動 ―

・12種目21活動 331名が参加
・指導者数　63名

※R8.4.1 現在

― 長与町における取組 ―

・指導者人材の拡充や指導者の質の向上として、大学生ボランティアの確保や指導者研修会を定期的に実施。
・財源は自主財源のほか、国や県の委託金・補助金の活用に加え企業版ふるさと納税や民間企業からの寄附・協賛などで賄われている。



金﨑教育長による説明



当町の教育委員会職員も参加した



長与町議会との意見交換



厚生文教常任委員会委員

委員会コメント

関係者の声では「他校との交流で友達が増えた」「ちゃんとした指導が受けられるようになった」「教職員の負担も減った」 など生徒、保護者、学校から好評であることが伺えた。

財政面では地元企業から支援を受けており、地域との連携の重要さを感じるとともに、何よりもこどもたちが中心であるべきという考えに、共感した。

長与町議会とは、議会の立場からこの事業が円滑に進んでいくための支援について活発に意見交換を行うことができ、有意義な視察となった。

今後、本町での中学校部活動の地域展開を進めるうえで参考にしていきたい。